

I 現状と課題

- 生徒・保護者、地域とより良い関係が築けているため、さらに地域とともにある学校づくりを推進する必要がある。
- 生徒は落ち着いて授業や生活を送っている。さらに自分で深く掘り下げて考えることや挑戦する気持ちを高めたい。

II 学校 教育目標

学校目標『ふるさとを愛し、深く考え、共に伸びる生徒の育成』

<p>めざす学校像</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒にとって学ぶことが楽しく、満足感や充実感を味わえる学校 ○家庭の要望や期待に応え、信頼される学校 ○地域に根ざし、積極的に地域に発信する学校 ○教職員にとってやりがいがあり、お互いに教職員としての力を磨く学校 	<p>めざす生徒像</p> <ul style="list-style-type: none"> ○決まりを守り、礼儀正しく、他人を思いやる豊かな心を持つ生徒 ○ふるさとに誇りをもち、地域や学校を愛し、進んで掃除や奉仕活動に取り組む生徒 ○自ら課題を見つけ、自ら考え、協働してよりよく解決する力を持った生徒 	<p>めざす職員像</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業を楽しく分かりやすく教えられる教職員 ○学びを深める授業を工夫する教職員 ○さまざまな問題に気づき、対応できる教職員 ○生徒の思いをよく聞こうとする教職員 ○信頼される言動のできる教職員
---	---	---

III 重点目標

<p>【確かな学力の定着と向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業を楽しくわかりやすく教え、学びを深める授業の工夫を図る。 (協働の学び・ICT機器の活用・中高一貫教育の推進・小中の学びの連携) <p>【地域学習の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域を知り、地域の教育資源を活用して学び、地域ぐるみの教育活動の展開を図る。 (中高一貫教育の推進・コミュニティ・スクールの推進) <p>【豊かな人間関係の構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の話をよく聞き、思いに寄り添い、豊かな心と良好な人間関係の育成を図る。 	<p>【未来を切り拓く力を養う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に判断できる力 ・ 多様な人々と協働していくことができる力 ・ 新たな価値を創造する力、新たな問題を発見し解決できる力
---	--

IV 具体的な取組

<p>【確かな学力の定着と向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会を生き抜くための資質能力の育成 ・ ICT機器の活用 ・ 小中高連携教育の充実 ・ キャリア教育の充実 ・ 朝の読書、家庭学習の充実 ・ 学力・学習状況調査、松阪市標準検査等の結果分析と改善の検討 	<p>【地域学習の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ I-HOPE学習、人間と社会の時間の充実 ・ コミュニティ・スクールを基盤にした地域活動の実践 ・ 学校だより、ホームページの充実 ・ 地域人材の活用 ・ 学校祭の充実 ・ 地域行事への参加 	<p>【豊かな人間関係の構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒のつながりを大切にしたい学校づくり ・ 人権の視点に立った授業づくりの実践 ・ ボランティア活動の推進 ・ 家庭との連携の充実 ・ 教育相談の充実 ・ 不登校生徒への支援体制づくり
---	--	--

明るく元気な教職員であるために ～教職員の健康維持のため、勤務時間の縮減を図る～

- ・ 設定した日の定時に退校できた職員の割合 80%以上
- ・ 放課後に60分以内に終了した会議の割合 65%以上
- ・ 予定通りに休養日を実施できた部活動の割合 95%以上
- ・ 時間外勤務月 45時間以上、年 360時間以上の職員が0人
- ・ 一人当たりの月平均時間外労働 30時間以下
- ・ 一人当たりの年間休暇取得日数 15日以上
- ・ 教職員の綱紀粛正、服務規律に関する注意喚起を年間 12回以上